

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6075	(H.24)No.	6075
-----------	------	-----------	------

事務事業名		ごみ対策費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
生活環境部		環境対策室		名和健治	63-7496
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小施策	1	ごみの減量化
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	271502
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	ごみゼロ・リサイクル推進事業	
項	清掃費	(小事業名)	
目	ごみ対策費	ごみ対策費	

3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>・全国都市清掃会議、三重県清掃協議会を通じて、国や県に対してごみ施策に関する要望を行うとともに会を通じて情報の収集を実施</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>・より適切なおみ施策の推進のため、行政間連携、研修会等に参加する。</p>
---	---

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・全国都市清掃協議会会費 92千円 ・三重県都市清掃協議会会費 10千円 ・容器包装に関する説明会旅費 10千円		・三重県都市清掃協議会会費等 20千円 ・容器包装に関する説明会旅費 17千円		補助金・交付金	その他 (負担金)	
					平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
				・三重県都市清掃協議会会費 ・容器包装に関する説明会等旅費	・三重県都市清掃協議会会費 ・容器包装に関する説明会等旅費	・三重県都市清掃協議会会費 ・容器包装に関する説明会等旅費	
直接事業費		112千円	37千円	37千円	37千円	37千円	37千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0)	112	37	37	37	37	37
人工数	職員		0.23人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
	臨時職員等			0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
概算人件費	(0千円)	1,679千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円
+ 総事業費	(0千円)	1,791千円	1,217千円	1,217千円	1,217千円	1,217千円	1,217千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	g	-	-	-	-	959.0
	実績		1,006.4	923.5	900.0	902.7	
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
全国都市清掃協議会会費92千円の負担が大きく、これまで全国組織を通じての名張市の要望事項が実現したことから、平成23年度を最後に退会した。	全国組織から退会することにより、情報収集に支障が出る可能性があるため、注意が必要である。 三重県の清掃協議会においては平成24年度からは、副会長市となるので、事務量は増えるが積極的な情報公開等に努めたい。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
家庭ごみの有料化、容器包装プラスチックの資源収集等について、名張市が必要とした情報は、ある程度取得し、施策も達成している。伊賀南部環境衛生組合も平成22年度に退会している。	名張市は、家庭ごみの有料化、ごみステーション収集方式への統一、生ごみの資源化試行の取組等で、他市から参考にしたいという視察要望があった。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	公用車で出張するなど、引き続き、旅費の抑制を図る。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項